

第4期富岸小学校区きずな計画書（案）

No.	基本目標	基本計画	重点項目	No.	実施項目 (具体的な内容及び活動)	地域（校区）の現状と課題 (重点項目の理由)	連携・運動団体	年次計画				
								R4	R5	R6	R7	R8
1	①きずなを育て確かめる	きずな活動の推進	校区活動	1	●校区きずな推進委員会の運営 (子どもを地域で育て、つながり合うための取り組みの検討)	・この先の時代を見据えるうえで、子どもがどう育ち、それを支えることができるかを考えていく必要がある。 ・地域のつながりを生かすことで、子どもの健全育成にも寄与することができるのではないか。	校区全ての関係機関団体	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				2	●住民座談会の開催 (地域の問題を共有し、話し合い、対策を話し合う場としての開催)	・都度現状の問題点を洗い出し、整理し続けることで活性化される。 ・話し合いを重ね、行動に移すことで支え合い運動が促進される。	校区全ての関係機関団体	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				3	●きずなを停滞させない活動の推進 (地域福祉を支える人材・リーダーの育成)	・新たな人材と定期的に関わり続ける人材育成の仕組みが必要。 ・町内会の垣根を越え、それぞれの取り組みについて意見を交わし、事例発表等の勉強会を混え、評価し合う体制も必要ではないか。	町内会、民生委員・児童委員	検討	実施	⇒	⇒	⇒
2	②きずなを護り強める	支援体制の充実	小地域ネットワーク活動の推進	4	●日頃からの見守り・訪問・声かけの推進 ●災害時や緊急時を意識した支え合う地域づくり (きずな安心キットの全域普及)	・全町内会での実施は必須。 ・要支援者の把握は、地域の防災力の向上にも必要である。	町内会、民生委員・児童委員、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				5	●地域でのつながりの構築及び強化 (定期的な見守り活動の展開：ふれあい活動・サロン活動等)	・きずな安心キットを配布して終わりではなく、継続的な対象者名簿管理やその後どのような取り組みや支援につなげるかが重要。	町内会、民生委員・児童委員、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
3	②きずなを護り強める	ともに生きる地域づくり	居場所・相談・つながりづくりの推進	6	●地域住民がだれでも集える居場所づくり (日頃の活動と連動した地域の居場所の開放)	・高齢化率が上昇する中、高齢者の健康状態把握や暮らしやすい地域を考え続けることは必要。 ・どのような活動、立地等が良いかあらゆる観点から検証することも必要ではないか。	市、町内会、地域包括支援センター	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
4	②きずなを護り強める	防災活動の推進	災害時や防災、減災活動の強化	7	●防災活動を基点とした地域づくりの推進 (防災に関する意識改革・意識高揚を促す取り組みの実施)	・早期に町会の足並みを揃えることが急務。 ・防災活動と日頃の活動が直結していること意識づけが重要。	町内会、民生委員・児童委員、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				8	●防災活動を基点とした地域づくりの推進 (各地域の実情にあった、効果的な防災計画書の策定と定期的な訓練の実施)	・市の防災計画等を参考に、「自助・共助・公助」の内容を整理し、自分の地域での具体的な活動、支援をしていくかに転換することが大切。	町内会、民生委員・児童委員、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒